

近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎

2016

学生も

大学も

地域も、

いっしょに育つ。



http://ohmirakuza.net
滋賀県立大学 スチューデントファーム「近江楽座」—まち・むら・くらしふれあい工舎—

STUDENT FARM

「近江楽座」＝学生らしさを活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座（おうみらくざ）」とは？

滋賀県立大学の「スチューデントファーム「近江楽座」—まち・むら・くらしふれあい工舎—」は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。平成16年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、平成18年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取り組みとして、学内外で高く評価されました。そして、翌平成19年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かし、さらなる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

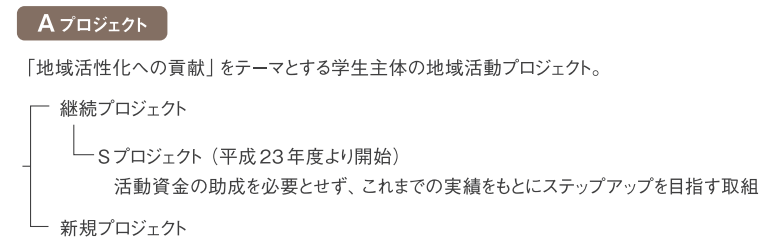
近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

- **活動助成システム**
“スチューデントファーム「近江楽座」”として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- **コンサルティングシステム**
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- **地域「知」のリソースシステム**
大学と地域連携に係わる情報を他大学、研究機関、行政、NPO団体などと共有化・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。

プロジェクトタイプ

平成19年度より、「地域活性化への貢献」をテーマに学生主体の地域活動を行う「Aプロジェクト」に加え、新たに、自治体や企業等から提示された課題について、学生主体のプロジェクトチームを結成し活動する「Bプロジェクト」がスタートしました。

- **Aプロジェクト**
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集します。昨年度までの継続活動を対象とした①「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした②「新規プロジェクト」、さらに新たに③「Sプロジェクト」として、これまでの実績をもとにステップアップを目指すプロジェクトで、活動資金の助成を必要としないプロジェクトの3つの区分で募集し、支援するプロジェクトを選定しています。
- **Bプロジェクト**
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題について、「近江楽座」として取り組むテーマを設定し、学生主体のプロジェクトを募集します。学生チームにはテーマに対する企画提案を求め、採択されたチームは、指導教員と地域共生センターがフォローし、依頼先と共同で取組みます。



- **Bプロジェクト**
学生主体のチームが自治体や企業等から提示された課題に、プロポーザル方式で企画提案を行い、選定されたチームと依頼先とが共同で取り組むプロジェクト（平成19年度より開始）

MANAGEMENT CYCLE

step1 発起

- **近江楽座につながる活動の芽**
○「学生主体による地域貢献活動」がキーワード
○大学での授業、フィールドワーク、研究などすべてが近江楽座につながる活動の芽

学生ならではの視点で地域の課題や魅力を見出し、新たな実験的な試みを蓄積していくことが出来ます。

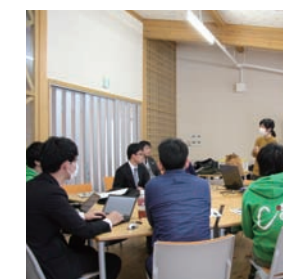


公開プレゼン

step2 計画

- **一年間で成果を上げるためのプランニング**
○年一回、近江楽座のプロジェクト募集と審査会
○学生主体の活動であれば、誰でも応募可能
○所定の過程と厳正な審査を経て為される採択

公開で行われる審査会を経験することで、学生たちのプレゼンテーション能力が養われます。また、審査を経て自分たちのプロジェクトの評価を確認することが出来ます。



勉強会

step3 活動

- **独自の支援を活用したプロジェクト展開**
○活動資金の助成により、実践的な活動展開が可能
○教員と事務局が連携した全学的なサポート体制
○年度中間に活動の中間報告を行い、活動の発展を図る

活動助成やコンサルティングといった活動支援に加えて、近江楽座がこれまで培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かすことで、更なる成果や展開も生まれていきます。



中間報告会

step4 報告

- **大学、地域と共に成果と課題の再認識**
○全てのチームで一年間の活動をフィードバックし成果と課題を共有し合う
○成果の発表だけでなく、地域関係者や一般の方とともに意見交換できる場づくり

活動成果の展示発表と同時に、外部講師による講評会を開催します。より多くの方々と共にまちづくりを考える場をつくることで、近江楽座の活動を広くアピールして取組の発展を図ります。



成果発表会

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

— VOICE / 先輩の声 —



上川七菜（半月舎）
近江楽座事務局員（2009—2010）

近江楽座では、活動を振り返り、できたこと、できなかったことを整理し発表する機会があります。ここから、自分たちで考え、悩み、課題に取り組みながら、やりたいことを実現していく力を身につけてほしいと思います。行き詰まったら、チームのメンバーだけでなく、外部の人に相談することで新しい解決策が見えることもあります。様々な出会いを大切に、学ぶチャンスがあればどんどんチャレンジしながら、感性を磨いて、将来に活かしてもらえたらと思います。



石野啓太（明山陶芸株式会社）
信・楽・人（2007—2010）

近江楽座には実際に地域にでて、自分たちで考え活動するといった、授業だけでは学べないことがたくさんあります。学生のうちだからできる自分の「やりたいこと」を自由に試す環境も整っており、社会というものを早く知ることができます。近江楽座という実践の場を通して、ものづくりの楽しさや実際に地域を見ることのおもしろさを体験でき、活動で得たことは今の仕事にも繋がっています。みなさんも自分の「やりたい」を積極的に見つけて取り組ましよう！

SCHEDULE 2016-2017

4月 / April
新入生オリエンテーション（4/7）
2016年度プロジェクト学内公募（4/11-5/9）
応募説明会（4/11）
2015年度活動報告会（4/16）
合同説明会（4/21-22）

5月 / May
2016年度公開プレゼンテーション・審査会（5/21）
2016年度採択プロジェクト発表（5/26）

6月 / June
プロジェクト活動開始（6/1）
活動説明会（6/1）
湖風夏祭（6/18）
「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始

7月 / July
交流会”ソロゾロ会”開催（7/4）
スキルアップ講座開催（7/12,21）
滋賀県立大学オープンキャンパス（7/23-24）

10月 / October
スキルアップ講座

11月 / November
2016年度中間報告会
湖風祭（11/12-13）

3月 / March
活動実績報告

4月 / April
2016年度活動報告会



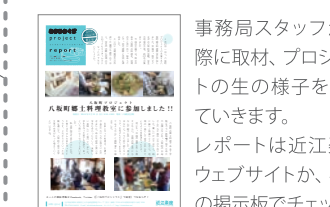
近江楽座公式キャラクター「メイミー」

ウェブサイトの情報が充実！



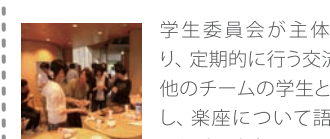
各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがあり、さらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知ることができます。

プロジェクトレポート発行中！



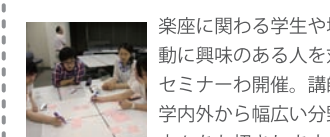
事務局スタッフが実際に取材、プロジェクトの生の様子を伝えていきます。レポートは近江楽座ウェブサイトか、学内の掲示板でチェック！

ソロゾロ会でチーム間の交流！



学生委員会が主体となり、定期的に行う交流会。他のチームの学生と交流し、楽座について語るきっかけにもなっています。

近江楽座でスキルアップ！



楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。

PROFILE

近江楽座学生委員会

近江楽座をさらに推進していくことを目的に、プロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を超えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成していくことを目指しています。

近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の一専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生主体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局

近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実施等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問い合わせ窓口や活動紹介印刷物の発行やホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。



近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎

近江楽座事務局
問い合わせ先 | 滋賀県立大学地域共生センター 〒522-8533 滋賀県彦根市入塚町2500
Tel | 0749-28-8616 Fax | 0749-28-8473 E-mail | info@ohmirakuza.net WEB | http://ohmirakuza.net

発行月 | 2016年7月
発行 | 近江楽座事務局
制作 | 堤 愛理加
取材協力 | 学生委員会